



学校だより

伸びゆく子

令和8年1月30日
横浜市立中沢小学校
2月号

子どもたちの意欲の光る委員会活動

学校長 川又美貴子

大寒の名の通り、寒波の到来で一気に冬の厳しい寒さを感じた一月下旬となりました。秋から時間をおいて再びインフルエンザの流行も見られており、体調管理が大切な季節となっています。

さて校内では、1月26日(月)から登校時に、ちょっと支援委員会の子どもたちがピロティで「挨拶おみくじ」という活動に取り組んでいます。全校の挨拶を増やしたいという思いから、少しでも興味をもってもらえるよう、挨拶をした後におみくじを引くことができる企画です。これは、以前にも行われていたのですが、今年はさらに工夫を凝らし、おみくじを確認後、回収ボックスで「ごはん派」「パン派」のように好きな方を選んで投票することができます。挨拶をして笑顔、おみくじを引いて笑顔、最後に悩みながらも楽しく投票して笑顔。朝から、たくさんの笑顔がピロティにあふれています。

また、運動委員会が「大谷グローブ」を活用したいとイベントを実施していました。2年前にグローブが学校に贈られた後に入学した学年は、まだ一度も触ったことがありません。そこで、低学年はクラスごと、すでに触ったことのある中・高学年は2クラスずつ中休みに体育館に集まり、キャッチボールを楽しむという企画です。普段、野球に親しむ機会のない子も多く、グローブをはめるのも、小さいボールをキャッチするもの初めてのことが多いようです。委員会の児童が優しくボールを投げ、それをうまくキャッチしようと集中し、うまくできた時には一緒になって喜ぶ姿があちらこちらで見られていました。

子どもたちの委員会活動は、過ごしやすい学校生活を支える常時活動と、子どもたちの思いを生かした楽しい企画とで進められています。音楽朝会担当の音楽委員会、給食時の見守りや給食週間担当の給食委員会、月1回の集会を企画運営する集会委員会、全校に提案を投げかけてよりよい学校づくりに取り組む運営委員会、流しの石鹸補充や保健室での見守り担当の保健委員会などもあります。図書委員会の読み聞かせや貸出係体験イベント、放送委員会の学級対抗じゃんけん大会、飼育委員会のスタンプラリーやふれあい体験などもありました。

常時活動でも、楽しい企画でも、取り組む子どもたちはとても責任を持って取り組んでいます。また、喜んで参加してくれる人たちの笑顔や感謝の言葉に触れることで、やりがいや達成感が得られているように感じます。「自分の存在が学校を支えている。」「自分の活動で喜んでくれている人がいる。」という経験は、これから社会に出ていく上で、前向きに何かに取り組んでいく力の源になると改めて感じます。これからも機会をとらえて、「ありがとう。」「楽しかったよ。」と伝えていきたいと思います。